

タイトル	図面の精度が低く、再調査！		
工種	<input checked="" type="checkbox"/> 調査 <input type="checkbox"/> 対策	フェーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 計画 <input type="checkbox"/> 作業中
対象汚染物質	第一種特定有害物質、第二種特定有害物質、第三種特定有害物質		
土地履歴	<input type="checkbox"/> 宅地 <input checked="" type="checkbox"/> 工場跡地 <input checked="" type="checkbox"/> 特定有害物質使用工場 <input type="checkbox"/> その他		
説明図	<p style="text-align: center; color: red;">「おそれの区分が変わってしまう…」</p>		
作業内容	測量、表層及び5～50cm 土壌試料採取		
使用機器	トランシット（トータルステーション）		
不具合事項			
<ul style="list-style-type: none"> 調査工期短縮のため測量と試料採取を同時進行により実施する計画を立てた。 調査計画上の試料採取ポイントの位置出しの際、計画図面と現況のずれが大きく、調査区画のおそれの区分が変更となったため、計画を見直しせざるを得なくなった。 			
予防措置(計画者、監督者、作業員)			
<ul style="list-style-type: none"> 既存図面を用いて調査を計画する場合は、図面の精度に注意し、事前に現地確認を行う。(計画者、監督者) 測量を実施し、現況に合わせた調査位置を決定する。(計画者、監督者) 測量及び単位区画の位置出し後、客先担当者の立会いのもとで、調査地点の確認を行う。(計画者、監督者) 			
応急措置			
<ul style="list-style-type: none"> 測量を実施し、現況に合わせた調査位置を決定する。 			
その他、留意事項			
<ul style="list-style-type: none"> 既存図面と現況の確認については、現地踏査を実施しておく方が望ましい。 「図面と実測値の間に概ね10%以上の誤差があった場合には現地測量を実施し、図面を修正または再度作成する。」が必要がある。 工期短縮のため、試料採取ポイントがずれたままで作業を続行すると、試料採取からやり直さなければならず、分析費、時間等が無駄になる可能性がある。測量の結果、調査数量に変更が生じる可能性があることを客先担当者に予め説明しておく必要がある。 			
関連法規等、出典	・1) 土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン改訂第3.1版 p.205		
キーワード	調査地点、測量、単位区画		
発生頻度	<input type="checkbox"/> 多 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 少	重大性	<input type="checkbox"/> 致命的 <input type="checkbox"/> 重大 <input checked="" type="checkbox"/> 軽微

タイトル

図面の精度が低く、再調査！

説明図



作業内容

測量、表層土壌試料採取

指示事項

計画図面内の採取地点と、現況の採取地点の間に大きなズレを感じたら、都度、監督員に報告する。

どんな不具合が起こりうるか？

だから私たちはこうします

本日の重点施策

ヨシ!!

サイン